

令和 5 年度 活動成果評価委員会 評価のまとめ

1. 全体の評価点について

■総合評価点	4.3
・ 博士課程大学院コース及びインテンシブコース入学者数	4.0
・ 各職種における専門・認定資格取得状況・実績	3.9
・ 学位(修士・博士課程)取得状況・実績	4.0
・ 論文発表数、学会発表数	4.9
・ プロジェクト統括会議(内部評価)の実施体制	4.6
・ 活動成果評価委員会(外部評価)の実施体制	4.6
・ プロジェクト運営推進委員会の実施体制	4.7
・ 特定非営利活動法人近畿がん診療推進ネットワークとの協力体制及び連携体制	4.6
・ 【定性2】次世代のがん専門医療人の育成のための体系的教育システム構築及び環境整備	4.7
・ 【定性3】情報発信及び普及	4.1
・ 【定性4】がんプロフェッショナル養成推進委員会委員からの採択時に指摘された「改善を要する点」への対応	4.0

2. TF ごとの評価点について

■総合評価点【TF 1】	4.3
① TF の課題解決に必要な人材育成の取り組み状況	4.4
② インテンシブコース、レクチャー、セミナーの開催	4.0
③ 連携大学共同プロジェクトの進捗報告	3.9
■総合評価点【TF 2】	4.0
① TF の課題解決に必要な人材育成の取り組み状況	3.6
② インテンシブコース、レクチャー、セミナーの開催	4.0
③ 連携大学共同プロジェクトの進捗報告	4.4
■総合評価点【TF 3】	4.1
① TF の課題解決に必要な人材育成の取り組み状況	3.7
② インテンシブコース、レクチャー、セミナーの開催	4.4
③ 連携大学共同プロジェクトの進捗報告	3.6

活動成果評価委員からの コメント抜粋

1. 評価いただいた点

- ・ 大学院の入学人数に関し、目標を大きく超え、幅広く受け入れ実績があったことは素晴らしく感じた。
- ・ 論文発表数、学会発表数に関しては、数だけでなく多様な分野からの発表がなされており、大変評価できる
- ・ RI や分子病理など研究の進歩で大きく変貌してきており、非常に興味深い。魅力的なプログラムを展開することや海外も含めた連携で興味を持つ方が増えることを期待する。
- ・ 遺伝カウンセラー育成:安定した実績がある。

2. 改善を要す点

- ・ 放射線治療、病理医等の講座への入学者とその人材養成が進むことを期待する。
- ・ 可能であれば関西圏の他のプロジェクトと連携して必要な人数を計画的に養成できるようになると素晴らしい。
- ・ 専門医取得者が少ない。個別化医療実践に必要な薬物療法専門医や遺伝性腫瘍専門医・臨床遺伝専門医などの育成が進むことを期待する。
- ・ リハビリテーション・薬剤師の院生数増加を期待する。
- ・ 神戸大学で新しくされる「専門看護師」育成に期待する。
- ・ インテンシブコース:看護師がすべて大阪公立大学であったり、大学・学部によって周知や意識に差があるのではないか。

3. 改善を要す点・その他ご提案

- ・ E-Learning:手軽になる一方で、対象者や大学の意識によってかなり参加者の偏りが出るのが考えられるので、周知とフォローをお願いしたい。
- ・ 共通特論の特性が失われないよう、他の研修で工夫をすべき。
- ・ 「SP 演習」「多職種演習」:大変素晴らしいプログラム、参加者を増やして欲しい。参加後の感想やアウトカムが可視化されると意義が高まりそう。
- ・ 医療の専門家だけでなく、患者・患者家族といった当事者等のリソースの活用も検討をして欲しい。
- ・ HP/SNS で情報発信を積極的に行って欲しい。
- ・ 情報発信の一つとして、義務教育の中における「がん教育」に注力してもよいのではないか。
- ・ 治療開発に精通した人材育成に向けて、規制当局や企業の R&D なども含めた産官学での医薬品開発の体系的な教育やセミナー開催などがあると良い。